



学校だより

令和3年 1月 6日

1月号

めざす子ども像

ともに学び、よりよい生き方を見つけ出すしろさとっ子

横浜市立城郷小学校



あ 当 たり 前 に

校長 巴 幹晴

新年を迎え、ご家庭におかれましては思いも新たにお過ごしのことと拝察いたします。

唐突ですが、今日は学校の日常について簡単に紹介させていただきます。

各ご家庭では、毎朝の健康観察と検温、カード記入にご協力くださりありがとうございます。朝一番、担任が教室でカードの確認を行います。体調に気になる点があれば、職員室と連携して対応します。

基本的にリコーダー奏の時と給食を食べている時を除き、マスク着用を常としています。リコーダー奏は半分ずつで、食事中は全員が同じ方向を向いて黙って食べます。給食時間は給食・放送委員会が録音制作した「昼の放送」とその後のBGMのクラシック音楽を流しています。黙って食べることは遠足でも自然と守られました。食後はすぐにマスクを着用します。休み時間は、教室の換気を心がけ、子どもたちが校庭に出て、ボールやドッジビー、縄跳びや鉄棒、遊具、鬼遊びなどで元気に動き回っています。教室では、絵を描いたり、折り紙をしたり、係の活動をしたりと、あまり活発に動かずに過ごします。図書室でも、混みすぎないように気をつけながら、読書したり本を選んで借りたりと、本に親しむ姿が見られます。休み時間が終わると「手洗いのうた」が流れ、あちこちの流し場で石けん液を使って手を洗う列ができます。トイレ休みも含め、こまめにみんなが手を洗って活動することが当たり前になっていて、学校の安全衛生の土台になっています。遠足にも石けん液のポンプボトルを持っていきました。体育の時間は、2メートル間隔の印をたよりにソーシャルディスタンスを保って準備運動を行ってから主運動に移ります。2メートルの間隔を無意識にとれる子もいます。熱中症予防の時期は間隔をとってマスクをはずしましたが、今ははずしません。

子どもたちが下校をすると、教職員は手分けをして、教室やトイレの扉の取手、様々なスイッチ、階段の手すりなど、多くの手が触れるところは毎日除菌作業を施しています。給食のない昼食時は、職員室に透明シートを下げ、静かに食べています。

これらは、1年前にはなかった「学校の日常」です。

意識して地道に生活するうちに、その行動が当たり前になる、

すなわち新しい生活様式が身につけている状態になれば、自然と安全な遊び、学びを生み出すことができいくでしょう。お互いの健康を気づかいながら過ごすことを当たり前にしたなら、今まで以上に学校が過ごしやすい場所になると思います。

子どもたちも私たち職員もみんな知っているのです。長い間休校となって、友達や先生に会えなかった頃の学校を、その時の思いを……。だからこそ、今、子どもも家族も学校（職員）も地域も、各々の考えられ得る感染症拡大防止に配慮した新しい生活様式を心がけたいと願っています。

今月も本校教育活動に、地域・ご家庭でのご協力をお願いいたします。



しろさとせろいちにいせろ
城郷O120